



学校だより

松葉小HP



12月号 No. 8
令和7年11月28日
台東区立松葉小学校
校長 松尾 敦
Tel 3841-2627

やさしくて親切な子供たち

副校長 川又 大樹

校庭のイチョウの葉が色づき、陽に照らされて黄金色に輝く美しい季節となりました。先日の学習発表会では、たくさんの方のご参観をいただき、ありがとうございました。保護者や地域の皆様にご覧いただいたことで、子供たちは「相手を意識した発表」をすることができました。一方通行ではなく、皆様からいただいた反応が、達成感とさらなる学びへの意欲につながったようです。

さて、12月10日は「世界人権デー」です。1948年に国際連合が「世界人権宣言」を採択したことを記念する日であり、日本では12月4日から10日まで「人権週間」と定めています。4年生の学習発表会のテーマであった「SDGs」でも、環境問題と並んで人権問題の解決が重要な目標となっています。

松葉小学校では、3年前から本校第22代校長であり人権擁護委員の片岡昭子先生をお招きし、全学級で「人権教室」を実施しています。人権や命の大切さ、いじめが重大な人権侵害であることなどを、映像資料や紙芝居を用いて、各学年の発達段階に合わせて、わかりやすく伝えていただきました。12月20日(土)の道徳授業地区公開講座では、「親子人権教室」と題して片岡先生にご講演いただく予定です。ぜひご参加ください。



また、本校では今年度「人権の花」の活動にも取り組みました。生き物クラブの児童を中心に、猛暑が続く中でも枯れないようにこまめに水やりをしました。登下校時に花の成長を楽しみにする児童の姿も見られ、マリーゴールドとサルビアの花が美しく咲いています。植物を大切に育てる心は、人権を大切にする心につながることを感じました。



松葉小学校の子供たちの様子からは、家庭や地域でたくさんの愛情を受けて、大切に育てられていることを感じます。そしてまた子供たちも、周りの人にやさしく、親切に接する様子が見られています。

学校生活における人権尊重は、「挨拶をする」「言葉づかいに気を付ける」「違う考えを認める」「困っている人に声をかける」「友達に優しく接する」といった基本的な行動の積み重ねから始まります。これからも松葉小学校の「やさしくて親切な子供たち」とともに、一人一人がお互いの人権を大切にして安心して学べる学校を目指し、日々の教育活動に取り組んでまいります。